

令和3年度市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：中心市街地のにぎわい創出について

【日 時】 令和3年10月11日（月） 18時30分 ～ 19時30分
リモート会議
【出席者】 ○篠崎市長 ○（参加者5名） 山口大学大学院創成科学研究科准教授：宋 俊煥 宇部市常盤通り振興会会長：宮崎 毅 コミュニティスペース「ようこそ」代表：内田 容子 山口大学大学院創成科学研究科学生：福島 沙瑛 宇部市子ども会育成連絡協議会会長：山根 輝久 ○総合戦略局次長 ○中心市街地にぎわい創出推進グループ ○事務局（広報広聴課）
【概 要】 1 開会 2 市長あいさつ 3 参加者自己紹介 4 開催目的説明 5 意見交換・懇談 6 閉会
【意見交換・懇談】
○子育て支援機能、まちの回遊性について 【山口大学大学院創成科学研究科准教授】 ・旧山口井筒屋宇部店の利活用について、子育て支援機能は、非常に重要なポイントだと思う。子どもが来れば親、更には、おばあさん・おじいさんと、3世代が一緒に遊べる場につながっていく。子育て支援拠点を中心市街地につくり、これを発信していくことにより、子どもが育てやすいまちとして若い世代に選ばれるのではないかな。 ・一方で、商業施設がないと厳しいのではないかなという意見もあると思う。民間は事業採算性等を考えるので、その場所にどれくらいの集客力があるかで、民間からの商業機能の提案が変わってくる。まず、行政が公共施設としてこういった機能をもってくるとい提示を行い、その後に、民間から、そういった公共施設の機能であれば、こういった商業機能がもってこれるとい次の提案があがる。それらをうまく組みわせることで、いろいろな機能が生まれてくるのではないかな。 ・高齢化率が高いエリアなので、子育て支援機能だけでなく、高齢者を受け入れられる機能についても考えていく必要がある。

【宇部市常盤通り振興会会長】

- ・「子育て支援」は大事であり、ぜひ取り組んでいただきたい。ただ、商業者の立場としては、トキスマの位置は宇部市でも「ピカイチ」のところであり、ここではもったいない気がする。
- ・井筒屋やレッドキャベツが閉店した時に、常盤通りで営業している会員に集客人数のリサーチを行った際は、1日に計1,800人だった。その後、トキスマや丸喜ができたことで、市役所に来庁した方など多くの人たちが、「とりあえず常盤通りに」と出てきた。銀行に行っただけで用事を済ませてすぐ帰るような人達に、まちを回遊してもらう方法を考え、それができればにぎわいはすぐに戻ると思う。
- ・中心市街地の活性化のために、子育て支援は確かに大事であり、全国的にも取り組まれているが、その後、施設を閉館した自治体も見受けられる。はたして子育て支援だけで存続していけるのか、その後の維持管理費等はどうなるのか、疑問に思う。

【市長】

- ・もともと井筒屋があった場所でもあり、商業施設をここに望む意見を沢山いただいている。一方では、残念ながら、今の状況では商業施設として民間事業者が単独で出店するのは難しいという現実を、サウンディング調査の結果で確認している。私が、スーパーマーケット等に直接意見をお伺いした際も同様であった。
- ・にぎわいがあるから民間投資を呼び込める。そのにぎわいをどう生んでいくのかといったところで、キーワードになったのが「子ども」や「若い世代」、「市民の皆様が集う場所」であった。
- ・「とりあえず常盤通りに行ってみるか」という人が増えてきた要因の一つがトキスマであったと思う。トキスマでの実証実験で、ある程度の人流を生み出したことが確認できた。実証実験の効果をしっかり反映し、トキスマにあった子育て機能や市民の憩いの場を、中心市街地につくっていきたい。
- ・「まちの回遊性」は重要であり、来街者が、市役所に来たらついでに常盤通りを楽しんでいただくために、ウォーカブルシティの取り組みを進めている。
- ・今回、旧山口井筒屋宇部店を利活用していくための行政で構築する機能を発表したけど、今後は民間の案も募集していく。

【宇部市常盤通り振興会会長】

- ・現在、保健所跡地や尾中病院跡地といった、今後のまちづくりの種地となる場所が非常に注目されており、これらの利活用の動きも、これからのまちづくりに希望が持てる話題であると思う。

○無料で勉強できる場所について

【山口大学大学院創成科学研究科学生】

- ・高校時代、宇部市で勉強する場といえば、図書館か塾か学校に限られていて、無料で勉強できる場はなかなか見つからなかった。これは今も同様である。最近では、オンラインで授業を受ける機会が多いため、無料で勉強できる場所ができれば、そこで食

べ物や飲み物の販売営業をしたいという業者が出店してくると思う。

- ・トキスマを利用して感じたこととして、常盤通り側にテラス席を設けて、歩道からの動線に連続性を持たせ、建物に入りやすくしてほしい。

【市長】

- ・私も、中学生の親御さんから、子ども達が集まる場所がないということをよくお聞きする。若い世代が、何を求めているのかをしっかりと知る必要がある。先般、大学関係者等とお話しする機会があり、宇部市には約 1 万人の学生がいるという話が出た。中心市街地にこの約 1 万人をいかに引き込むかが、大きなキーワードになる。ぜひ学生の皆さんの声を聞かせていただきたい。

【宇部市子ども会育成連絡協議会会長】

- ・子ども会事務局は青少年会館にある。その 1 階に学習スペースがあり、利用者が多い。また、新しくできた丸喜のフリースペースも学生が集まり勉強をしている。そういった光景から考えると、学びの場があるのは、非常によいと思う。

○親も子どもと一緒に遊べて楽しめる施設、エヴァンゲリオンについて

【宇部市子ども会育成連絡協議会会長】

- ・現在、子ども会加入者が非常に減っている。その理由を確認するため、全校区の会長にアンケートをとったところ、「家庭内において子どもと一緒に楽しみたい」という意見が多かった。遊び場をつくるにあたっては、子どもの目線だけでなく、親も一緒に遊べて楽しめる施設を組み入れれば、いろいろな人が集まるのではないか。
- ・宇部市はエヴァンゲリオンの聖地みたいなところがあり、これを宇部市の強みと考え、アニメ関係のもので、市外・県外の多くの熱いファンをターゲットにするのも手法のひとつではないか。

【市長】

- ・「子どもと一緒に楽しむ」は、人流を生むための大事なキーワードだと思う。子ども達が体験したい、そして大人が子どもに体験させてあげたいと思う場所をつくることで、一緒に来る大人も巻き込んでいく。しっかりと人流をつくって民間投資を呼び込むことが大事である。
- ・エヴァンゲリオンは、ふるさと大使として活躍されている庵野監督にぜひお力をお借りできればと思っている。以前開催したパネル展は、コロナ禍で縮小した規模だったが、それでも人流はすごいものであった。ぜひ、考えていきたい。

○文化施設や若い世代が遊べる場所について

【コミュニティスペース「ようこそ」代表】

- ・旧山口井筒屋宇部店の利活用について、今回の子育て支援機能はとてもよいことだと思う。以前トキスマにあった子どもが遊べるスペースはとてもよかった。
- ・青少年会館は、いずれは老朽化で解体されるので、旧山口井筒屋宇部店には、その代替施設となるものを期待する。子どもたちが勉強できる文化施設を兼ね備えたものに

してほしい。また、プラネタリウムは、宇部市の財産だと思うのでぜひ残してほしい。

- ・高校生の娘は、勉強ができ、遊べ、コミュニケーションがとれる場所で、学生がそこに行ったら、1日過ごせる施設をつくってほしいと言っていた。娘達が遊ぶところといたら、おのだサンパークや、コロナが始まる前は、福岡や広島まで行っていたこともあった。先ほど、学生さんが約1万人いると言われていたので、そういう子達が集って、盛り上げていけるような施設をぜひお願いしたい。

【市長】

- ・文化施設や若い人が遊びたい・そこで時間を過ごしたい場所というのは、非常に大事なキーワードだと思う。若い方やご家族連れの方がショッピングセンターに行くのは、これが買いたいから行くという方もいらっしゃると思うが、「あそこに行けば楽しい時間が過ごせるのではないか」という方のほうが多いのではないか。「とりあえず常盤通り」と言えるぐらい、若い人達が集まれる場所にしていきたい。
- ・子ども達が、例えば勉強したい、ショートムービーを撮りたい、ダンスを踊りたいと思っても集まる場所がない。
- ・複合的な施設をこのトキスマ跡地で考えている。ただ、大規模なものをつくるかどうかについては、一考する必要がある。大きいものをつくっても「コロナ禍でどれだけの人数を入れてよいのか」という判断がこれからも出てくるし、大きな箱でなくてもいろいろ楽しめる流れになってきている。建物の大小ではなく、そこで何ができるか、どういう時間が過ごせるかということをメインに考慮していきたい。

○中心市街地活性化に関する補助金について

【コミュニティスペース「ようこそ」代表】

- ・市のリノベーション補助金を活用して、新天町にお店をオープンした。ただ、建物の老朽化がひどく、水道・電気・ガスが全て使えない状態で、建て替えた方が安いと思うぐらいの改修費用を要した。この補助金制度に対する要望として、インフラについては全額補助していただければと思う。新天町にお店を出したいという方は沢山いるが、改修費が多く掛かるため断念される方が何人もいる。

【市長】

- ・これから、ウォーカーブルシティの取り組みをはじめ、いろいろと回遊性をもたせたり、居心地をよくしたりという取り組みをしていく中で、新天町や常盤通りの商店街の振興策についても、しっかり進めていくことが行政の役割であると思う。
- ・人通りがないところに出店するのは、ハードルが高いと思う。取り組みをさらに加速させるためには、商店街で投資しやすいような取り組みを検討していかなければならない。インフラ整備の問題も含めて、出店しやすい仕組みを考えていく必要がある。その辺りまでは行政がカンフル剤として用意し、その後は民間の経済の原則にお任せする。しっかりと儲かるような準備をするというところに、行政は特化していきたいと考えている。
- ・行政が直接ショッピングセンターをつくった事例も全国各地であるが、なかなかうま

くっていない。そもそもビジネスのプロである民間がうまくいかないのに、行政がやってもなかなかうまくはいかないと思う。今後もまちづくりにおける行政の役割について、しっかりと考えて進めていきたい。

○琴芝街区公園の活用について

【宇部市常盤通り振興会会長】

- ・琴芝街区公園については、20年ぐらい前と思うが、国が払い下げをするような話があった。そのとき公園の下を駐車場にして、上を公園にするという案があった。それで国から了解をもらえていたが、一部の市民から反対運動がおこり、計画がだめになった経緯がある。もう一度この案を復活させることは難しいか。

【市長】

- ・この件については、もう一度調べさせていただきたい。ただ、財務省からは、この駐車場化は厳しいと言われており、公園の活用の仕方について、地元住民の皆様ともご相談させていただきながら考えていきたい。

○路面上での飲食ができるイベントについて

【宇部市常盤通り振興会会長】

- ・今、路面上で飲食ができるような形のイベントを市が許可しているようだが、常盤通りでもそれは可能か。

【市長】

- ・国土交通省からの許可が下りれば可能。

○ウォーカブルシティについて

【市長】

- ・常盤通り副道の駐車場部分を公園のような緑地にして、いろいろなイベント・事業等が打ちやすい場所にしていきたいと考えている。
- ・「常盤通りに行けば、何かやっているんじゃないか」と思わせるぐらいイベントを打っていく。例えば、キッチンカーのイベントやマルシェ、アーバンスポーツ(都市型のスポーツ)など。今回のオリンピックで注目を集めた3×3(3人制バスケットボール)、マウンテンバイクなどの自転車スポーツ、スケボーなどの都市型スポーツのような大会を中心市街地に持ってくる。これらは、観客も楽しめるスポーツである。そういう大会を常盤通りで開催していく。今、若い方向けのことばかりをお話ししたが、高齢者向けのイベント等を打っていく方法もある。
- ・「箱もの」を作って終わりではなく、これを市民の皆様が活用しやすいようにすることが大事である。ウォーカブルシティでまちなかの空間の質を高めていきたい。
- ・ウォーカブルシティの取り組みは、言葉で説明するだけでは伝わりにくい。市民の皆様にとしっかりと理解していただけるように、イメージ図をどんどん示していきたい。

【宇部市常盤通り振興会会長】

- ・今、市長がおっしゃってきたことが、これまで伝わってきていなかった。お話を聞いて非常に安心した。これまで、ただ子どもの遊び場をつくると思っていた。ぜひ、今の思いを広めていただければと思う。

【市長】

- ・市民の皆様にも納得してもらったうえで、まちづくりをしなければいけないという危機感から、市長になって10ヶ月間、今までの課題、ハードル、問題というものをきちんと整理させていただいた。
- ・今回ウォークアブルシティの基本機能をまとめたので、今後これをしっかりと活用していただきやすいようにするため、音で訴える、動画で訴える等、老若男女すべての皆様に伝わりやすい方法で説明していきたい。

○宇部空港との連携について

【宇部市子ども会育成連絡協議会会長】

- ・宇部空港とうまく連携できるような、観光客を旧山口井筒屋宇部店の方に誘導し、そこからいろいろな情報を提供する、いろいろなところに行く等の取組ができないか。

【市長】

- ・そういうコンテンツは一考あると思う。そういった求められる機能については、今後ワークショップ等を通じて、ご意見をいただきたい。

○イベントがなくても来てもらうために

【コミュニティスペース「ようこそ」代表】

- ・イベントをやって人を呼ぶのもよいと思うが、イベントに頼らなくても、中心市街地に住んでみたいと思えるように、また、人が集まって来るように、真締川で若者がスケボーで遊んだり、ギターでライブをしたり、ご年配の方が健康を増進したりするのに役立つ、散歩ロードとかを整備してほしい。

【市長】

- ・そういったことも、ぜひやってみたい。中心市街地全体でどのような機能を補完していくかが非常に大事である。
- ・音楽を楽しめる場所、予約なしにスポーツを楽しめる場所等は、非常に大事であると思っており、トキスマ跡地でも「多目的スペース、多目的室」として準備しようとしている。また、市役所の前にも大規模な芝生公園ができるので、こういうところを使って音楽やスケボーを楽しめる場所をつくっていきたい。
- ・散歩したくなる、ちょっとお出かけしたくなるような仕組みや、イベントがないときでも来てもらえるということは大事なキーワードである。
- ・トキスマ跡地の整備など、これから非常に大きなお金がかかってくる。国の補助金等も申請するが、限りある予算の中で、しっかりと必要なものを見極め整備していくことが大事なポイントである。

【コミュニティスペース「ようこそ」代表】

- ・お金が無くても楽しめるやり方を、広く市民から公募したりすることはお考えか。

【市長】

- ・市と市民・団体・事業者など、多様な主体が力を合わせ、「共創によるまちづくり」を推進することで、ポストコロナを見据えた持続可能な地域社会を構築していくことを考えている。
- ・「共創」という言葉を使ったが、価値観やライフスタイルが多様な中で、行政が一方向的に「こういうのをやります」という時代は終わったと思う。市民の皆様がこうありたいという姿を実現できるまちづくりこそが、私が理想としている姿の一つである。市民の皆様から、ぜひいろんなご意見をいただきたい。

【山口大学大学院創成科学研究科准教授】

- ・素晴らしい考えだなと思う。繰り返しになるが、「共創」と「持続性」が本当に重要である。官だけではなく、民がちゃんとそこで稼げる仕組みをつくる必要がある。また、マネジメント、持続的に運営できる仕組みをつくることは、非常に重要だと思う。そういう観点で考えると、いろいろな受け皿をつくることになる。つくって終わるのではなく、いろいろな場で議論しながら、うまくいったものは常設して機能を取り入れ、循環させながらつくっていくと、きっと良いまちになっていくと信じている。

○意見交換会について

【市長】

- ・こういう意見交換会は、繰り返していかなければいけないと思う。行政としては、皆様の意見をしっかりと聞いて、一緒につくっていく。これがやれてこそ中心市街地の活性化ができる。
- ・過去のような状況を取り戻すことが目標ではなく、これから新しいまちの在り方を市民の皆様と一緒につくっていく、これが大事なポイントだと思う。

【山口大学大学院創成科学研究科准教授】

- ・これから何度か実験的なことをして行って、それから持続的な物事につながっていくと思う。これからも、一市民として若者の意見をお伝えできたらいいなと思っている。

○コミュニケーションについて

【コミュニティスペース「ようこそ」代表】

- ・今の中心市街地に一番足りないものは、コミュニケーション力である。現在、新天町商店街組合の一員であるが、回覧が1枚回ってくるだけで、コミュニケーションはない。広く一店舗一店舗の意見を吸い上げてほしい。
- ・宇部鴻城高等学校の生徒さんが、宇部市を、新天町を盛り上げたいということで、うちのお店に顔を出されて一生懸命活動している。そういう若い力を応援したいという大人が少ないのは残念だと思っている。

【市長】

- ・コミュニケーションは、本当に大事である。コミュニケーションが足りていない部分が多々あると思う。これはまちづくりだけではなく、いろいろな政策に関してもそうであると思う。ある意味一番やらなければいけない市長の仕事であると思う。これからもしっかりと取り組んでいこうと思う。

【コミュニティスペース「ようこそ」代表】

- ・10月30日(土)に、高校生カフェをコミュニティスペース「ようこそ」で開催する。

【市長】

- ・その時は寄らせていただきたい。また、宇部鴻城高等学校は、高校生議会でもご提言いただけるということで楽しみにしている。

○市役所前交差点の右折信号について

【宇部市常盤通り振興会会長】

- ・商店街に来られる方から、市役所のところの信号に右折信号がないので非常に危ないという声をいただいた。

【市長】

- ・公安委員会とも協議する必要があるので、一度預からせていただきたい。

【市長】

- ・本日は、本当に大事なキーワードをいただくことができ、感謝している。
- ・市民の皆様が本当に集まりたくなる、行ってみたくなるような中心市街地、これを目指していく。これを目指すことによって、民間が投資をしやすくなる。そして新たな人流が生まれていく。これは、にわとりが先か、卵が先かではなくて、全部を大事にするということがポイントであると思う。
- ・良いサイクルをしっかりと回すためには、共創「共に創っていくこと」、コミュニケーションが大事である。これからもコミュニケーションを大事にしながら、いただいたご意見を中心に、今後の中心市街地の活性化を進めていきたい。